

対象国の条件 : アフリカ地域

研修コース番号 : J1804252

案件番号 : 1884904

主分野課題 : 教育/初等教育

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

子どもが、基礎的な学力と自ら学び考える力を身につけられるよう、①カリキュラム、②教科書・学習教材、③授業、④学力診断の一貫性を持たせ、「学びのサイクル」を強化するための施策・制度、及び学校現場における具体的な取り組みについて学ぶ。具体的には、系統性・継続性のあるカリキュラム、カリキュラムと整合性のある教科書、教師用指導書、これらと一貫性のある学力試験問題の開発及びそのフィードバック方法等について学ぶもの。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 本研修では、学校教育を構成するカリキュラム、教科書・教材、評価のそれぞれについて、系統性・継続性が考慮され、連動して繋がり開発・改訂される仕組みを学ぶ。日本における文部科学省の役割や関係諸機関の取り組みに触れ、研修参加者には、自国の課題や日本の経験の活用可能性について関連機関に提言できるようになることが期待されている。</p> <p>【成果】 成果1： 自国のカリキュラム、教科書、評価に係る現状と課題が整理される。 成果2： 日本におけるカリキュラム、教科書、評価に係る開発・改訂の仕組みを説明できる。 成果3： 自国で実施可能、かつ、合理的なカリキュラム、教科書、評価に係る開発・改訂の仕組みが提案される。</p>	<p>【対象組織】 教育省、カリキュラム開発局、教科書開発局、試験機構等</p> <p>【対象人材】 カリキュラム、教材、評価を担当する部局から、各国の参加を促す。</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>1. カントリーレポートの発表（発表・協議）、課題分析（WS） 2. 日本の教育制度（講義・協議） 3. 日本のカリキュラム、教科書、評価に係る開発・改訂の仕組み（講義・協議） 4. 日本のカリキュラム、教科書、評価に係る関係機関の役割（講義・協議） 5. 文部科学省、国立教育政策研究所、教科書会社、独立行政法人大学入試センター、学校（視察） 6. 他国から参加者との意見交換協議（作業、発表）、政策提言の作成（発表）</p>	<p>本邦研修期間</p> <p>2018/9/16～2018/9/29</p>	
	<p>担当課題部</p> <p>人間開発部</p>	
	<p>所管国内機関</p> <p>JICA東京（人間開発）</p>	
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p> <p>2017～2019</p>	
<p>主要協力機関</p>	<p>調整中</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		